

パンタール通信

南北米福地開発協会

会報

2009年8月1日

71号

**レダ開発10周年記念
現地訪問ツアーに参加しましょう！！**



パンタールの月八は冬の季節。気温は日の出前頃、十以下になることもしばしばあります。日中は二十前後、乾期の真つ只中で乾燥した日々の為、蚊も少なく、日本から訪ねると避暑に訪れたような快適な気分となるでしょう。また、大自然は新しい生命を誕生させる準備に忙しい時です。

鳥も獣も、それぞれがよき伴侶を求め、恋の季節が訪れ、晴れて夫婦となった者たちが、9月になればあちこちで子供を抱く様が見られるようになります。そして雨期に入り、待っていたように枯葉枯れ芝が、一斉に美しい緑に生まれ変わります。様々な花が咲き、支流には小魚が溢れ、それを求めて鳥の親子が群がる。それは天地が躍動する壮観なパノラマです。

レダ開発も今年の十月一日で十周年を迎えます。多くの方々の真心に支えられて新しい段階に発展している様を、少しでも多くの方々に体験して頂こうと十周年記念現地訪問ツアーが企画されています。今まで地球環境問題対策の一環として植樹をして頂いた方々、建設や機材購入に貢献して下さった方々、地域学校建設や教育支援活動に尽力して下さいました方々、農業や牧畜に関心を持ってご協力賜った方々など、縁ある方々が共に参加して現地の人々と共に喜びを分かち合い、大自然を堪能し、新たな10年の出発をしたいものです。(飯野記)

《パンタール南米ツアー・プラン》

期日* 九月十四日、二十三日

費用* 約三十五万~四十万円予定、

(オプションツアー代金は別)

詳しくは近々事務局から発表されます

のでお待ちください。

10周年記念ツアーに参加し、
自然を満喫しましょう！！



大統領補佐官一行、 レダ訪問

大統領補佐官一行四名が、カサドを視察した後、レダにやって来られ、中田所長、佐野先生をはじめわずかなメンバーでしたが心を込めてお迎えしました。

プールの水も透き通って輝いていましたし、夕方到着後すぐレダの歩みのビデオも修練所応接間で見られ、日本人年間コランティアがレダの地と近隣のインディヒナの村に尽くしてきた苦勞の歩みに感動されました。

第一ゲストハウスに宿泊され、六月二十八日朝レダを視察、第一農場から第五植樹園までニームやモリンガの植樹の様とその目的と説明に大いに心を動かされました。



極めつけは、支流奥地を車で案内、第三、第四の橋の近くで、「ワニやトウユウの群れをご覧になり、「知らなかった。こんなところがあるとは初めてだ！」と叫ばれ、次回は是非とも大統領を連れて来たい！」とメインの二人の方が力強く語っていました。

補佐官はカソリックで学生時代からルゴ大統領と親友であり、卒業後ルゴ大統領は神父の道を、自分は建築家の道を歩みながら信者としてルゴをサポートしてきた仲だそうです。レダ訪問記念にニームの樹の植樹をしていかれました。

第9回国際青年ボランティア隊員の期待と現地の準

今回、私がこの活動に応募したのは、このお話を聞いた時から本当に行きたくて、率直に神様が絶対待っているから！そして、神様に親孝行がしたいこと思ったからです。

自分自身、神の下の一つの家族を成していくために、海外で（特に発展途上国で）教育環境が難しい地域にいる人たちに、民族を超えて文化が触れるきっかけをつくっていききたいと思っています。それが、神様の夢を成していくために、私が貢献していききたい分野であるし、私の夢でもあります。

今回の活動に参加させていただくことが、自分にとっても大きな挑戦になると思いました。

多くの先輩が精誠を尽くされたその地で、自分自身がしっかりと自分の目で見つめ、感じ、体験して、何かひとつの確信を得て、その場だけの活動で終わらせるのではなく、また帰ってきてからより一層夢に向かって歩んでいきたいと思っています。

（女性隊員、名古屋より）

今日、青年組織の責任者をしているロケ氏と話しました。それは、シウダ デル エステでの植樹の件です。彼らは最近シウダデルエステのある学校に百本の植樹をしたようです。

運動の一環として環境問題を扱っているようで、シウダ デル エステの市役所の後援を取り付け、キャンペーンをし、学校と関係を持ち、純潔運動や人格教育などのモラルの講義をしていこうという計画のようです。

彼らとタイアップして、九月五日（土）を植樹の日として定め、五十校を選んで、百本ずつ植えるキャンペーンをする事を計画しています。

ロケ氏も非常に乗り気で、もちろん各学校の生徒たちが百本の植樹の面倒は見てくれます。

九月五日温暖化防止の日として市の関係者と教育の場を設け、市全体が植林の重要性を啓もうする日として集会を行う計画です。

日本から来る青年奉仕隊が効果的な活動が出来るよう万全の準備をしています。

（現地担当 佐野）

ベニータさんへインタビュー

レダで働き始めて四年ほどになります。
「私は労働者達のお母さん・・・」と語り、何時も彼らに気を配りながら食事を作っております。
現在ベニータさんのご主人、お子さん三人、姉妹二人が交互にレダで働いております。



レダのどの辺りで生まれましたか？
第 ゲストハウスの辺りで生まれました。
「当時のご家族は？」
「父母と私と妹二人の五人家族、父は牧童頭をしていました。大変大きな牧場でメス牛、子牛、去勢した牛などに分けてよく管理されてある牧場でした。船四隻で出荷してました。
現在毎日どのような気持ちで働いておりますか？」
「母親として子供たちを学校に行かせ勉強させ、独り立ち出来る様にしてあげたいと考えており、その為今ここで働けることはとても感謝です。」

支援のお願い

ご家庭に眠っている未使用の切手、はがき、印紙などがありまして事務局に送ってください。



第九回青年奉仕隊も皆さまの温かい支援でなされます。左記の口座に本年もよろしく願います。
すでに、五五〇万が集まりました。心から感謝します。当初の予想以上に現地の植林活動が大きく進められることになり、必要な経費も七〇〇万円近くになります。再度のお願いで恐縮ですがよろしく願います。

郵便口座
一〇一八〇一

七七八〇四七一
代表 柴沼邦彦



子供の頃勉強する機会がありましたか？
「私は長女なので殆どありませんでした。母親から自分の名前の読み書き程度は教えてもらいました。妹達は勉強をする機会が持てる様になりました。
二十五年前の大洪水の時の様子は？」
「高台を選び何とか生き延びました。豚がヤシの木を食べるなど通常は考えられない状況でした。四月から洪水が始まり、七月に入っで少しずつ水が引き始めました。」

南北米福地開発協会会員の募集

南米、パラグアイパンタナル地域への植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進しその地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。
会員は月五〇〇円、毎月、パンタナル通信を送ります。
また、各種のセミナー、エコツアー等の案内をいたします。

南北米福地開発協会 事務局

〒二一三〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口二一十一十五

岩崎ビル四F

電話 〇四四一八二九一二八二二

Fax 八二九一二八二〇

会費納入 郵便口座

一〇一八 〇一七七八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@asd-nsa.jp

ホームページ

http://www.asd-nsa.jp